



# 病後児保育だより 梅雨号 (第3号)

令和6年6月 病後児保育室  
(湯沢乳幼児健康支援センター)



病後児保育室  
ホームページ



QRコード

まもなく梅雨入りになります。この時期はジメジメと蒸し暑い日があるかと思うと、ひんやりと涼しい日もあります。また、梅雨の晴れ間には、まるで真夏のように日差しが強くなったりと、天気が変わりやすく体調を崩しやすくなります。水分補給、衣服の調節をしながら、心地よく過ごしましょう。

4月、5月の病後児保育室利用者罹患状況は  
風邪・RSウイルス感染症・突発性発疹症・蕁麻疹です。

湯沢市でも流行しています

～合併症に気をつけましょう～

## 溶連菌感染症

熱やのどの痛み、  
発しんが  
出ることも

溶連菌感染症では、38～39度の高い熱が出て、のどが痛みます。のどの検査で診断がついたら、抗菌薬を飲んで治療します。治療をしないと全身に赤い発しんが出るほか、舌がイチゴのように赤くざらざらになるのが特徴です。

薬はしっかり  
飲み切って

抗菌薬を飲み始めると1～2日で熱が下がり、症状は落ち着いてきますが、薬は最後まで飲み切りましょう。症状が治まっても、薬を飲んでいる間はまだ体の中には溶連菌が残っています。薬の飲み忘れに注意しましょう。しっかり治さないと腎炎などの合併症の危険があります。

登園再開の目安

抗菌薬を飲み始めてから24～48時間が経過していること



かゆみが出る時

## 梅雨の時期の注意点

### ■食中毒

食中毒は6月から9月頃にかけて多く発生します。衛生面に十分気を付けましょう。

### ■事故

雨の日は傘をさすことで視界が悪くなり、事故の危険性が高まります。また、雨で滑りやすく、転びやすくなりますので十分に注意してください。

### ■かぜ

蒸し暑さから汗をかくことが増えますが、朝夕は気温が下がり寒くなります。汗をかいたらすぐに着替え、寒くなったら上着などで体温調節を行うようにしてください。

## あせもを防ぎましょう

あせもは、おでこやひじ、首の周りなど、汗がたまりやすく、皮膚がこすれる場所にできます。アトピー性皮膚炎のある子は、症状が悪化することもあるので注意しましょう。

あせもを作らない **3**つのポイント

- ① 薄着が基本
- ② 吸湿性のよい木綿の肌着を着る
- ③ 汗をかいたら着替える、タオルでふく、シャワーで流すなどして、常に肌を清潔に

